琵琶湖に対する住民評価とその要因

比叡山の登山道から見た琵琶湖

卒業生 武島のぞみさん（2015年度入学）

問題発見

様々な要因が絡み合う琵琶湖の環境問題

近年、琵琶湖は水草や外来生物などの新たな問題や課題が顕在化しています。しかし、琵琶湖流域の現状に対する個々の住民評価を把握できていないため、把握する必要があると考えました。

琵琶湖の水草繁茂の状況

出典：滋賀県,水草対策事業概要＜https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/13046.html＞

調査分析

アンケート調査を実施

琵琶湖流域の住民へのアンケート調査から琵琶湖の水質や生物などの現状に対する評価と評価に影響を与える要因を把握しました。

アンケート調査項目

	質問項目	質問例
1	琵琶湖流域の現状評価	自然環境：水質，動植物，漁獲量，外来生物　等
		暮らし：1次産業，保全活動の実施状況　等
2	現状評価の判断源	メディア，専門家，実体験，保全活動を通して　等
3	琵琶湖への意識	琵琶湖への関心や愛着，会話の頻度　等
4	琵琶湖流域に対する望む姿	水質が良い，生物多様性，農林漁業の活性化　等
5	琵琶湖保全計画の認知度	詳しく理解している　⇔　聞いたことがない
6	幼少期の興味や行動	環境への関心，自然体験，家族の環境配慮行動　等
7	琵琶湖流域に関する知識	水質，アオコ，外来生物，漁獲量，環境学習　等
8	個人属性	性別，年齢，職業，居住地，居住期間，家族構成

問題解決の糸口発見

琵琶湖に対する評価は住民の個人属性に影響することが分かりました。例えば居住期間が長い人ほど流域への関心が高く、その結果知識点数が高くなり一次産業に関わる項目や流域管理に対する評価が良い傾向にあることが明らかになりました。

学科への入学を希望されている方へ

本学科の先生方は学生の意見を尊重し、親身にサポートしてくださいます。いつの間にか楽しいと思える分野が見つかるため、興味があることがまだよく分からない人にもおすすめです。社会人に必要な知識やスキルも身に付きます。

答えを探すな。
”問題“を探せ。

滋賀県立大学 環境科学部
環境政策・計画学科
http://depp-usp.com